

2012年1月19日～21日にSan Francisco で開催されたASCO Gastrointestinal Cancers Symposium 2012 に参加させていただきました。ASCO Annual meeting は2度経験させていただきましたが、Gastrointestinal Cancers Symposium は初めてでした。Gastrointestinal Cancers Symposium は Annual meeting と比べると規模は小さいものの、専門的で活発な論議がされている印象を受けました。また、日本人の発表者も非常に多く、大いに刺激を受けました。一日目は上部消化管、二日目は肝胆膵、三日目は下部消化管と整然とプログラムが組み立てられ、学び易いように工夫されていました。

私の専門である上部消化管では大きな発表はなく、GRANITE-1とAVAGAST における subgroup 解析くらいでありました。しかし、先に述べたように日本人の発表者が多く、興味をひく演題が盛りだくさんでした。中でも Biomarker 研究ははずせないという認識を新たにしました。今回は来年以降自分自身が発表するであろうことを想定でき、非常に有意義な時間を過ごせました。

最後に、今回このような素晴らしい機会を与えていただきました JACCRO および関係各位に深謝申し上げます。